

福島教区報

天理教福島教務支庁

〒960-8022 福島市新浜町7番26号
TEL 024-534-2251 / FAX 024-534-2404

教会数 98ヶ所
佈教所数 87ヶ所
よふほく数 3,132人
(2022.9月現在)

教祖140年祭二年千日活動スタートの年

神一条、よろこび一条、たすけ一条で

謹んで立教186年の新春のご祝辞を申し上げます。

昨年は、コロナ禍の中ではありましたが、福島教区に繋がる皆様方には、いま出来る信仰活動の上に前向きにお励み下さいまして誠に有難うございました。

とりわけ「教区制度制定120周年の年」という節目の年に当たり、中山大亮・青年会長様には4月28日から30日まで福島の地に滞在して下さいました。28日には震災の被災地訪問、29日には県内3か所で全教一斉ひのきしんデーの会場視察、そして30日には「福島教区青年会記念総会」へのご臨席。3日間の滞在には大きな勇みの種を与えて

下さり望外の喜びでありました。次代を担うあらきとう

りようの若い人たちには躍進への力強い心の糧を与えて下さいました。コロナ禍の中、有難い有意義な貴重な時間を頂戴することが出来ました。

明けて本年は、来る令和8年に迎える教祖140年祭に向かって、三年千日祭活動スタートの大切な年となりました。昨年10月26日の本年秋季大祭の折に真柱様より『論達第4号』が發布され、私達の歩むべき道しるべをお示し下さいました。その思いに沿って福島教区でも年祭活動を押し進め、仕切って成人の歩みをさせていたいただきたいと存じます。

その上から4月2日には内統領・宮森与一郎先生をお迎えし「立教186年 福島教区・教区祭」を執行させていただきます。また、社会的おたすけの一つとしてコロナ禍で減少しています献血活動にも積極的に協力させていただきます。と存じます。

教祖140年祭に向かって、神一条、よろこび一条、たすけ一条で信仰活動を進め、ご存命の教祖にお喜びいただきたいと切に願います。

本年一年も、なお一層、教区、各支部、各部各会の活動の上に、ご尽力ご丹精を賜りますようお願い申し上げます。新年の挨拶といたします。

教区長 平澤勇一

4月2日(日) 午前10時
内統領先生ご臨席
教区祭執行

婦人会

「婦人の集い」を開催

福島教区婦人会

（平澤栄美主任）では、10月29日（土）、福島教務支庁で「婦人の集い」を開催し、37名の婦人会員が参加した。



当日、あいさつに立った平澤主任は『諭達第四号』のご発布にふれ、思いを述べた。続いて、6班に分かれてねりあいの時間が持た

れた。

ねりあいでは、今年の「教区主任講習会」で加藤元一郎・宮城教区長が講話した「教区婦人会に期待すること」について、『みちのだい』（天理教婦人会発行）203号に掲載された要旨を参考に、教区婦人会として成すべきことなど、活発に意見を交わした。



婦人会

「母親講座」を各支部で開催

福島教区婦人会

（平澤栄美主任）では、新型コロナウイルスの感染拡大のおさまりが見えないことから、今年も「母親講座」を各支部で開催することとした。

●会津支部
3月6日 会津南分教会
参加者6名

●いわき支部
9月19日 小名濱分教会
参加者16名

月次祭直会後に開催した。参拝場で子供を遊ばせながら、神様のお話（おつとめについて）をした。初回だったので、あまり長くならないようにして、子供と一緒に楽しみながら実施した。途中何度か中断しながらであったが、子供が穏やかに遊んでいる時は、お母さんの表情も良く、落ち着いて話を聞いていただい

た。参拝場で子供を遊ばせながら、神様のお話（おつとめについて）をした。初回だったので、あまり長くならないようにして、子供と一緒に楽しみながら実施した。途中何度か中断しながらであったが、子供が穏やかに遊んでいる時は、お母さんの表情も良く、落ち着いて話を聞いていただい

マスクケース、ウエットティッシュ（おしりふき）ケース、コロコロにいろいろなシールでデコレーションして、世界に一つだけの自分の作品ができた。

その後、お茶を飲んで、赤べこの絵に色付けをした。折り紙、シール、色鉛筆、色ペンなどを使い、色とりどりの赤べこができ、1枚の大きな模造紙に貼り、牧



場が完成した。

参加者からは「すごく楽しかった。ありがとうございます。います。」と言っていた。き、少年会からも「楽しかった。面白かった。またやりたい。」と言っていた。

●田村支部

11月6日 三春分教会
参加者13名

子供たちと一緒にゴミ拾いのひのきしんをした後、お茶を飲みながら、自己紹介をしたり、近況を話したりした。参加者で共に作った昼食を食べた後は少年会と一緒にゲーム大会をして楽しんだ。

11月13日 磐城常葉分教会
参加者3名

子育てを終えた方々と、コロナ終息のお願いづとめをつとめ、「みちのだいチャンネル」を拝聴した。

11月16日 田村分教会
参加者2名

コロナ終息のお願いづとめをつとめ、「みちのだいチャンネル」を拝聴した。その後、境内地のひのきしんをした。

●安達支部

11月28日 安達分教会

参加者5名

おつとめをつとめた後、『論達第4号』を拝読した。そして、『みちのだい』203号の加藤元一郎先生の講話を読み、その後、布巾縫いのひのきしんをした。

参加者からは「ひながたを通ると言われても漠然としていたが、分かりやすく日々の通り方が分かり、私も実行できると思った。」
「御用は『素直に、勇んで、喜んで』ひのきしんの心で。」
「みちのだいの本を読んでみたい。」といった感想が聞かれた。

子育てのお母さんに対しての声かけは各教会にお願いしており、根気よく、お母さんの育成の大切さを伝える努力が大事だと思つた。また、「みちのだいチャンネル」を活用していき

いと思つた。

●耶麻支部

耶麻支部ではそれぞれの教会で行うとしており、それぞれの月次祭の前後に、ひのきしん等しながら話し合いを行うようにした。

「子ども食堂」開催日に合わせて、子供の友達の親が協力してくれたり、支部内の若い人たちが参加してくれて、一緒に活動する中でお互いに子育ての悩みと話を話し合ったりした。なかを話そうようにしている中、初回はなかなか本音を吐き出せなかった人もいたが、回を重ねるごとに心配な事とかを話せるような雰囲気になってきた。
「みちのだいおはなし会」を毎回受講させていただいた。

基礎講座

郡山支部会場に19名参加

11月13日、「天理教基礎講座」(郡山支部会場)が郡山青少年会館(郡山市)で開催され、初めての方で開催され、初めての方8名(内未信仰の方3名)を含む19名が受講した。ビデオや生江一行講師の講話を通



して、天理教の教えが初めての方にも分かりやすく紹介された。参加者からは、「分かりやすく天理教の教えを聞かせていただきました。皆様がどのような気持ちで教えを生活に活かしているかが分かりました。」との声も聞かれた。また、熱心にメモを取りながら聞いておられる若い女性の方もおられた。

(K・K)

会津支部会場に39名参加

11月20日、「天理教基礎講座」(会津支部会場)がアピオスペース(会津若松市)で開催され、初めての方16名(内未信仰の方5名)を含む39名が受講した。コロナ禍以降、福島教区会場では一番多い受講者となりました。講師は久しぶりに平澤勇一先生がつとめた。

プログラムに沿ってビデオと講話が繰り返され、天理教の教えが初めての方にも分かりやすく紹介された。



閉講後、2名の方より講師へお尋ねがあり、ご好意により応えていただいた。

(K・K)

祭事部

「年末大掃除ひのきしん」を実施

12月1日、祭事部（小野修部 長）では「年末大掃除ひのきしん」を実施し、教区役職者をはじめ、災救隊員や青年会員など18名が参加した。

午後1時、教務支庁神殿に集まった参加者は、小野部長の手に合わせて参拝をした後、神殿を中心に、教務支庁内を上から下へ、天井払い、はたき掛け、掃き掃除、拭き掃除と順次作業を進め、午後4時の終了時には、建物内部はきれいに払い清められた。

夕づとめ後には、「災救隊年末連絡会」も行われ、今年1年の活動が報告され、次年も引き続き、活動の上にお力添えをいただけるようお願いされた。

(O・O)

厚生部

「献血推進研修会」開催

12月2日、厚生部（杉澤元和 部長）では「献血推進研修会」を開催、教務支庁で開催、教区役職者等、28名が受講した。

まず、杉澤部長が「対外的実動のおたすけの一つが「献血」だと思う。4月2日に移動採血車に来ていただく予定で、ご協力をお願いしたい。」と挨拶をした。

続いて、福島県赤十字血液センター献血推進課の大竹さやかさんが、「福島県の献血の現状と血液センターの活動」についてお話しされた。まず、献血の概要をお話しされたあと、献血が特に若い年代で減っていると訴えた。また、コロナ禍による各種イベント等の中止で移動採血車の出勤が減ったことにより、献血の減少に拍車がかかったとした。そして最後に「赤血球製剤は採血日から21日間、血小板製剤は4日間と有効期間が短いので、毎日の献血をお願いしている。コロナ感染に十分注意して採血を行っているので、ぜひご協力をお願いしたい。」と述べて話を終えられた。

(5)



(M・S)



耶麻支部

「みおしえ学習会」開催

耶麻支部（近藤直光支部長）では、11月6日（日）、新河沼分教会において、「みおしえ学習会」を開催し、12名が参加しました。

「みおしえ学習会」は、地域におけるようぼくを対象とした活動の一つで、ワークシートとDVD（ビデオ）を用いた、ファシリテーター（進行役）による演習形式のプログラムで

す。ワークシートに答えていくことで、教えを身近に感じやすくなります。また、他の参加者の考えを聞くことで新たな気付きが得られます。福島教区内では初めての開催で、7月の「ファシリテーター研修会」を受講した佐久間雄大先生（東越分教会長）、齊藤峻徳先生（安達分教会教人）がファシリテーターをつとめました。

テーマは「十全の守護」で、時折笑いもあり、楽しく受講していました。それぞれ 의견を聞く時など、考え方の違いや思いに「なるほど」と感じる方も見受けられて、新たな気付きを得られていたようでした。

(N・K)

法人実務研修会

日時 3月1日（水）
午前10時から午後2時30分
会場 福島教務支庁
講師 本部宗教法人課長
受講費 500円（昼食代含む）

春の学生おぢぼがえり

3月28日（火）10時 式典
27日 14時～17時
回廊拭きひのきしん（西回廊）
お楽しみ行事（西泉水プール前広場）
28日 式典後～15時 直属アワー

立教 186年 教区祭

座りづとめ 教区役職者
よろづよ八首 学生会・青年会、女子青年
一、二下り目 学生会・青年会・女子青年
三、四下り目 耶麻支部・安達支部
五、六下り目 郡山支部・田村支部
七、八下り目 会津支部
九、十下り目 耶麻支部
十一、十二下り目 いわき支部・相双支部

4月2日（日）10時執行

記念講演 内統領・宮森与一郎先生
教区長あいさつ
歌「親神様の守護」
昼食（弁当）
献血への協力
参加御供 500円
移動採血車も来ます！
献血のご協力もお願いします。

福島教区ホームページ 「天理教福島教区」で検索！

[Http://tenri-fukushima.sakura.ne.jp](http://tenri-fukushima.sakura.ne.jp)